

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	救助資機材整備事業	所管	消防本部 警防課
			TEL 2929-9122

事業の目的 (何の為に 行うか)	複雑多様化する救助事象に対し、隊員の安全を確保しつつ、迅速、確実に救助活動が行える体制を構築することを目的とする。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	空気呼吸器軽量ボンベ	対象とした数	223	本
		実際に 利用した数	30	本

活動の内容	(何を したか)	<p><事業の内容> 軽量ボンベ(FRP製)の耐用年数は15年であり、各年度において耐用年数(15年)を経過したボンベを廃棄している状況であるため、その廃棄したボンベを更新整備し必要本数(270本)を確保していく事業である。</p> <p><実施方法> 1 各年度で廃棄となるボンベを抽出し、必要本数を勘案した上で更新整備本数を決定する。 (平成17年度 65本、平成18年度 12本、平成19年度 19本、平成20年度 40本) 2 消防車両更新整備事業と併行して整備する。</p>							
活動実績	項目名	更新整備数	30	項目名	更新整備数	30	項目名	更新整備数	30
		単位	単位		単位	単位		単位	単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	2,047	1,669	3,360	9.9

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	更新整備数	更新整備数/更新整備必要数	47	30	63.8
			単位	単位	単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 改善・効率化 * 改善余地なし その他 []							
		終了 ⇒ 事業完了		終了		休止			
	予算	* 現状どおり		増額		減額		終了	

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了								
	総合 評価	拡充	縮小	統合	改善・効率化	改善余地なし	その他 []		終了
	予算	現状どおり		増額		減額		終了	

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	100300	TEL	2929-9122		
事業コード	救助資機材整備事業							
100304								
開始年度		昭和	60	年度	—	終了年度	平成	年度

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令				
	分野別計画・指針	所沢市総合計画							
	関連・類似事業	消防車両更新整備事業			消防組織法				
	総合計画の体系	政策	第6章 みんなが安心して暮らせるゆとりあるまち	施策	1節 消防・救急	中柱	1 消防力の充実	小柱	(6)資機材の整備と救助隊員の育成
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 13 位			・実施計画における位置づけ…			H19	<input type="radio"/> H20 <input type="radio"/>
事業開始の背景	建物構造、材質等の変化に伴い、火災及び有毒ガスが発生する現場で消火活動及び人命救助活動を行うため、空気呼吸器の使用が不可欠になり、また隊員の負担軽減を図るための軽量ポンペを耐用年数(15年)に応じた計画的な更新整備が必要となった。								

③事業の内容	目的(何のために行か、具体的に)									
	複雑多様化する救助事象に対し、隊員の安全を確保しつつ、迅速、確実に救助活動が行える体制を構築することを目的とする。									
	対象(誰を、何を対象としているのか)					利用数の考え方				
	空気呼吸器軽量ポンペ					各年度に更新整備した空気呼吸器軽量ポンペ数				
	対象数	単位	平成 18 年度	205	本	利用数	単位	平成 18 年度	30	本
		平成 19 年度	223	本			平成 19 年度	30	本	
事業の具体的な内容及び実施方法										
<事業の内容>										
軽量ポンペ(FRP製)の耐用年数は15年であり、各年度において耐用年数(15年)を経過したポンペを廃棄している状況であるため、その廃棄したポンペを更新整備し必要本数(270本)を確保していく事業である。										
<実施方法>										
1 各年度で廃棄となるポンペを抽出し、必要本数を勘案した上で更新整備本数を決定する。 (平成17年度 65本、平成18年度 12本、平成19年度 19本、平成20年度 40本)										
2 消防車両更新整備事業と併行して整備する。										

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>									
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 => (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])								
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了								
	平成19年度中に改善した点									
FRP軽量空気ポンペの耐用年数は15年であることから、最終目標として、年間18本のポンペを15年サイクルで更新することとする。										

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		2,205	2,047	1,922	
	決算(見込み含む)		1,758	1,669		
	(嘱託職員)(臨時職員)	(人) (人)	(人) (人)			
	正規職員人件費		0.17 人 1,564	0.18 人 1,691		
	公債費					
	事業費合計		3,322	3,360		
	財源内訳	一般財源		3,322	3,360	1,922
		国・県支出金				
		受益者負担金				
	市債					
	その他					
	市民一人当たり(単位:円)		9.8	9.9		
	利用数一単位あたり(単位:円)		110,733.3	111,997.3		

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	更新整備数	更新整備本数		30	30	30	
	活動実績						
	成果分析	更新整備数	更新整備数/更新整備必要数		目標値 77	47	36
				実績 30	30		実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2
	%	達成率		39.0	63.8		1

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性 <input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	現在の実施主体 市 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合 <input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	受益者負担の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題	現在は空気呼吸器用ポンペを整備しているが、空気呼吸器本体及び他の救助資機材の更新整備も重要である。		
	平成20年度における目標設定	空気呼吸器用ポンペ	計画数	達成水準(どこまで) 時期(いつまで) 平成20年10月末
平成21年度における事業の方向性				
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 => (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])			
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
評価理由	有毒ガスなどの発生する火災現場等において隊員の安全を確保し、より効果的な活動を行うため空気呼吸器は必要不可欠の機材であり、関係法令により耐用年数のある空気呼吸器用ポンペは、廃棄と更新整備を繰り返す必要がある。このため予算も恒常的に必要で現状を維持するものである。			
評価日	平成20年5月12日	記入者職氏名	警防課長 荻野 透	

⑧二次評価	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性						
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了						
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	評価理由	評価日						
⑨個別計画における方向性	年度内優先順位…	位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業	
	評価理由	評価日						

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し					計画コード
	施策の体系						施策の方向
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し					計画コード
	基本目標						
	主要課題						
	施策の方向						